



国会正門前で「アベ政治を許さない」のポスターを掲げる人たち=3日

戦争法廃止へ決意新たに

全国で一斉にポスター

国会前

「アベ政治を許さない」ポスターが3日、全国各地で一斉に掲げられました。毎月3日午後1時に同じポスターを掲げようと、作家の澤地久枝さんが呼びかけた行動です。国会議事堂（東京都千代田区）の正門前には約120人が集まりました。この日は、誰でもできる行動にしようと無言で抗議する「サイレントスタンディング」にも取り組みました。澤地さんのほか、作家の落合恵子さん、渡辺一枝さんが駆けつけました。



話をする金子兜太さん(左)。左は望月たけしさん(右)、東京都豊島区

政権に対して、市民が「たい」と廃止への決意を新たにした。安倍首相のおいしい（岸信介元首相）の時からたかかってい「法律が施行されてしまったが、認めざるわけにはいかない。政権の一番許せない」と語りました。

戦争の残酷さ伝えたい

金子兜太さんゲスト 文団連がつづい

「アベ政治を許さない」第3弾を開き、「アベ政治を許さない」を掲げ文化団体連絡会議（文団連）が3日、東京都豊島区で金子兜太（とうた）さんがゲストで登場。トラをいじり回している

こんな危険なことはない。いかに戦争が残酷で、たくさん良い人間たちが無残に殺されたのかを伝えなければいけない。それが、死んだ人たちのために自分ができるべきことだ」と話しました。

いくつもの短歌を紹介。安倍政権を倒せるような連合政府確立に向けて頑張るまじゅう」と呼びかけました。

金子さんは「つどい」に先立ち、大塚駅前で自筆のフラカード「アベ政治を許さない」を参加者とともに掲げ市民にアピール。足を止め、戦争法の廃止を求める2000万人署名に応じる姿も見られました。

第2部の文化企画では、元新日本歌人協会代表幹事の奈良達雄さんが「日本国憲法の原点を歌人はどうとらえたか―平和百人一首」に見る」と題し、新俳句人連盟の俳句群読、創造集団池小（新劇人会議）の朗読と語り、東京のうたごえ協議会の合唱などが行われました。